

## 職業実践専門課程の基本情報について

平成29年6月1日現在

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
専門学校 久留米自動車工科 大学校	昭和51年 4月1日	荒木 猛夫	〒834-0115 福岡県八女郡広川町大字新代1428-21 (電話) 0943-32-0281		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 久留米工業大学	昭和33年 8月13日	吉武 健一	〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 (電話) 0942-22-2345		
目 的	教育に関する諸法令に基づき、高等学校教育の基礎の上に専門の知識・技能の教育を行い社会に有用な技術者を育成する。自動車整備士に必要な国家一級自動車整備士資格取得を目的とし、自動車整備業界を支えていく人材を育成する。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時数 又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の 付与
工業専門課程	一級自動車工学科	4年(昼)	3645単位時間 (又は単位)		平成29年文部科学 省告示第25号
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	965単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	2680単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人	45人	9人	0人	9人	
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「前期：4月1日～10月15日</li> <li>■ 後期：10月16日～3月31日」</li> </ul>		成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表 (有) 無)</li> <li>■成績評価の基準・方法について 各科目の成績評価 優・良・可 にて評価</li> </ul>	
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学年始め：4月1日～4月4日</li> <li>■夏 季：8月1日～8月31日</li> <li>■冬 季：12月24日～1月7日</li> <li>■学 年 末：3月21日～3月31日</li> </ul>		卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>学則に定める全科目が一定の基準に達し学科並びに実習の出席時間数が既定の時間数を超えているもの。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制 (有) 無)</li> <li>■長期欠席者への指導等の対応 学生支合計画書に基づき 学生並びに保護者への連絡を密にする。</li> </ul>		課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類 カスタムカーなどの製作</li> <li>■サークル活動 (有) (無)</li> </ul>	
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主な就職先、業界 自動車整備業界、自動車ディーラー など</li> <li>■就職率 100 %</li> </ul>		主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> <li>一級小型自動車整備士</li> <li>二級ガソリン自動車整備士</li> <li>二級ジーゼル自動車整備士</li> <li>二級二輪自動車整備士</li> <li>低圧電気取扱い特別教育など</li> </ul>	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 3名    ■中退率 7.8%</p> <p>平成28年4月1日在学者 38名（平成 25年4月入学者を含む）</p> <p>平成29年3月31日在学者 35名（平成 28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路の変更</p> <p>■中退防止のための取組 学生並びに保護者との連携を深める。</p>
<p>ホームページ</p>	<p><a href="http://www.kic-car.ac.jp/school/">http://www.kic-car.ac.jp/school/</a></p>

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校におけるカリキュラムは教務課を中心に作成されているが、このカリキュラムを自動車産業界の有識者を含めた教育課程編成委員会で精査し、今、社会で求められている産業人の育成と教育の質の向上につなげていくことを基本方針とする。

本校職員において、企業側（社会）が求める社会人像、あるいは入社前に身に付けておいて欲しい礼儀、知識、技術などが正確に把握できていない事は大きな問題である。そこで、この問題を解決するため、教育課程編成委員会会議において、お互いの教育方針、教育方法、人間教育、道徳心など多岐にわたって協議し、カリキュラムを修正または、新しいカリキュラムを提案していくことで、学校と企業との協調教育を実現させる。

年度内に3回の教育課程編成委員会を行うことを原則とし、第1回では、本年度のカリキュラムに関する問題点あるいは、改善提案等の収集、第2回では、第1回の会議内容を踏まえた来年度のカリキュラムを提案、第3回では、来年度のカリキュラムの提示、新カリキュラム実施というPDCAサイクルによる教育プログラムの構築を行っていく。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月23日現在

名 前	所 属
富永 昭彦	ネットトヨタ西日本株式会社
矢加部 仁	ネットトヨタ西日本株式会社
仲村 崇文	福岡日産自動車株式会社
山口 正宏	福岡トヨペット株式会社
深江 徹	(一般社団法人)福岡県自動車整備振興会
廣田 耕一	久留米工業技術専門学校
西田 健一	久留米工業技術専門学校
野口 義夫	久留米工業技術専門学校
森 高浩	久留米工業技術専門学校

### (開催日時)

- 第1回 平成26年7月29日 14:00 ~ 15:00  
第2回 平成26年10月16日 15:00 ~ 16:00  
第3回 平成27年2月12日 14:00 ~ 15:00 (予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

1. 挨拶、礼儀、言葉遣いなど、人としての必須教育に重点を置く
2. 基本に忠実な作業を身に付けた上で、臨機応変な作業の創造につなげていく
3. 実習において習得すべきは、安全作業であることの徹底

科目名	科目概要	連携企業等
体験実習	自動車販売会社において、自動車整備士の実務業務を体験する	ヤナセバイエルンモーターズ福岡株式会社 福岡日産自動車株式会社 いすゞ自動車販売九州株式会社

### 3. 教員の研修等

#### (教員の研修等の基本方針)

自動車の進歩はめざましく、日々新しい技術が投入されている。これらの新技術に対する職員の情報源は、専門誌、新聞、インターネットなどに限られてしまい、自動車専門学科の教員としてスキル向上を目指すうえで情報不足となりがちである。これらを補うため、企業等の講習会、研修会等に参加することで活きた情報あるいは技術を習得し、リアルタイムで授業に反映させる。

また、指導力の修得・向上に関しては、外部講師を迎え専門性の高い講義を行ってもらい、生徒に対する話し方や言葉の選び方等から心理状態まで幅広く学び、教師としてのスキルアップを図って行く。

これらの研修等は、久留米工業技術専門学校における教員研修規程に基づき、工学部専任教員全員を対象として実施される。

### 4. 学校関係者評価

#### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年10月23日現在

名前	所属
岡 大介	久留米工業技術専門学校 同窓会 会長
西 正道	株式会社 九州マツダ
深江 徹	(一般社団法人) 福岡県自動車整備振興会
廣田 耕一	久留米工業技術専門学校
西田 健一	久留米工業技術専門学校
江頭 裕樹	久留米工業技術専門学校
森 高浩	久留米工業技術専門学校

#### (学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページにより公開

URL: <http://www.kic-car.ac.jp/school/>

### 5. 情報提供

#### (情報提供の方法)

ホームページにより公開

URL: <http://www.kic-car.ac.jp/school/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 一級自動車工学科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			教養知識	社会人として必要な知識全般を身に付ける	1前	16		○		
○			ビジネスマナー	社会人としてのマナーや所作を学ぶ	1通	30		○		
○			パソコンの基礎 (1)	パソコンの基礎的な使い方とワード・エクセルの基礎を学ぶ	1前	16		○		
○			エンジン構造	ガソリン・エンジンとディーゼル・エンジンの基本構造と原理について理解する	1通	58		○		
○			シャシ構造	自動車シャシの基本的原理及び構造について理解する	1通	58		○		
○			電装品構造	自動車電装品の基本的原理及び構造について理解する	1通	58		○		
○			二輪自動車構造	二輪自動車の基本構造と原理を理解する	1通	30		○		
○			自動車総論	自動車の歴史と基礎的な自動車の原理、法規・法令等幅広く学ぶ	1前	16		○		
○			特殊機構	自動車の新技術や自動車特有の機構について学ぶ	2通	45		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 一級自動車工学科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			自動車の力学	高校数学の復習と自動車の基礎的な計算問題を理解する	1通	30		○		
○			自動車の数学	自動車の性能などに関わる数学と二級自動車整備士試験における計算問題を理解する	2通	45		○		
○			電気工学	電気の基礎的理論と自動車への応用例について学ぶ	1前	16		○		
○			自動車の材料	自動車に使用される材料の種類及び、その材料の特徴を理解する	2通	24		○		
○			燃料・潤滑	自動車に使用される燃料と油脂類について種類と特性を理解する	1前	16		○		
○			製 図	図記号の意味や図面を書く上でのルール等、製図に関する基礎を学ぶ	2通	24		○		
○			ガソリン・エンジン整備	ガソリン・エンジンの整備方法の基本から故障探究までを学ぶ	2通	49		○		
○			ジーゼル・エンジン整備	ジーゼル・エンジンの整備方法の基本から故障探究までを学ぶ	2通	35		○		
○			シャシ整備	自動車シャシの整備方法の基本から故障探究までを学ぶ	2通	63		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 一級自動車工学科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			二輪整備	二輪自動車の整備方法の基本から故障探究までを学ぶ	2通	20		○		
○			電装整備	自動車電装品の整備方法の基本から故障探究までを学ぶ	2通	49		○		
○			故障原因探求	故障の確認から探究法、診断法、交換部品など不具合修理のアプローチを学ぶ	2通	20		○		
○			整備作業機器	自動車整備作業に使用する整備機器について学ぶ	1通	30		○		
○			測定・検査機器	自動車整備で使用する検査・測定機器について学ぶ	2前	14		○		
○			自動車検査	定期点検整備に必要な、自動車保安基準について学ぶ。	2通	30		○		
○			自動車整備に関する法規・法令	自動車整備士に必要な、道路運送車両法について学ぶ	2通	30		○		
○			工作作業手仕上げ・機械工作	工作物を作製する事により、工作工具・工作機械の正しい使用法を習得する	1通	32				○
○			測定作業基本計測	自動車整備に必要な測定機器を用いて、計測作業法を習得する	1通	34				○

授業科目等の概要

(工業専門課程 一級自動車工学科) 平成 28 年度											
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	
○			測定作業 基本計測	自動車整備に必要な測定機器を用いて、計測作業法を習得する	2前	20				○	
○			自動車整備作業 エンジン	自動車エンジンについて基本的な実習を行う	1通	649				○	
○			自動車整備作業 シャシ	自動車シャシについて基本的な実習を行う							○
○			自動車整備作業 電装	自動車の電装品について基本的な実習を行う							○
○			自動車整備作業 エンジン	自動車エンジンについて実践的な整備実習を行う	2通	574				○	
○			自動車整備作業 シャシ	自動車シャシについて実践的な整備実習を行う							○
○			自動車整備作業 電装	自動車の電装品について実践的な整備実習を行う							○
○			自動車整備作業 故障原因探求	実際に故障を発生させた自動車を用いて、総合的な故障探究作業を行う							○
○			自動車検査作業	保安基準に適合しているか検査機器を使用し、完成検査を行う	2後	60				○	



授業科目等の概要

(工業専門課程 一級自動車工学科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			エンジン電子制御	エンジン電子制御システムについて修得する	3前	16		○		
○			シャシ電子制御	シャシ電子制御について修得する	3前	16		○		
○			電装品電子制御	電装品の電子制御について修得する	3前	16		○		
○			特殊機構	最新の新技术機構の内容を修得する	3通	30		○		
○			自動車の数学	自動車性能などを理解する上で必要な数学を習得する	3前	16		○		
○			電気工学	電子制御などで必要な電氣的基礎を理解する	3前	16		○		
○			自動車材料	車両に使用されている部品などの材質を理解する	3後	14		○		
○			燃料・油脂	燃料や潤滑油の特徴・成分を理解する	3前	16		○		
○			製図	部品などの図面の読み方や書き方を理解する	3前			○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 一級自動車工学科) 平成 28 年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ガソリンエンジン整備	ガソリンエンジンの制御方法を理解する	3通	30		○		
○			ジーゼルエンジン整備	ジーゼルエンジンの制御方法を理解する	3後	14		○		
○			シャシ整備	自動車シャシの電子制御につて理解する	3通	43		○		
○			電装整備	電装品の電子制御について理解する	3通	30		○		
○			故障原因探求	故障探究方法について理解する	3通	30		○		
○			総合診断(1)	問診による故障原因推測方を修得する	3後	14		○		
○			総合診断(2)	問診による故障原因推測方を修得する	4通	21		○		
○			環境保全	自動車に関する環境汚染と廃棄に関する規制等を学ぶ	3前	16		○		
○			安全管理	作業するにあたり第一に考えるべき安全とは何かを学ぶ	3前	16		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 一級自動車工学科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			整備作業機器	自動車整備を行う上で必要な整備機器の機能構造について学ぶ	3前	16		○		
○			測定機器	自動車整備を行う上で必要な測定機器の機能構造使い方について学ぶ	3前			○		
○			検査機器	自動車の各種検査に必要な機器の機能構造使い方について学ぶ	4通	7		○		
○			自動車検査	自動車保安基準等について学ぶ	4通			○		
○			自動車整備に関する法規	道路運送車両法について学ぶ	4通	14		○		
○			自動車概論	自動車の歴史から、近年の自動車構造まで幅広く学ぶ	3前	16		○		
○			サービス・マネージメント	マナーの必要性や名刺のやり取り・電話の対応などを身に付ける	3後	14		○		
○			手仕上げ・機械工作	工具や工作機械を使った加工技術を習得する	1前	12				○
○			応用計測	専用機器を用いて高度な計測を行う	3前	20				○

授業科目等の概要

(工業専門課程 一級自動車工学科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			自動車整備作業 エンジン	エンジンに関する高度な整備技術の習得	3通	636				○
○			自動車整備作業 シャシ	シャシに関する高度な整備技術の習得	3通					○
○			自動車整備作業 電装	電装品に関する高度な整備技術の習得	3通					○
○			自動車整備作業 故障原因探求	故障探究に関する高度な整備技術の習得	3通					○
○			自動車検査作業	自動車が保安基準に適合しているかどうか判断するための検査作業を学ぶ	3通	25				○
○			サービス・マネージメント	サービスマンに必要な礼儀作法や対応の仕方等を学ぶ	4前	130				○
○			体験実習	整備工場にて実作業を体験させるインターンシップ実習	4前	245				○
○			評価実習	体験実習を経験した後、身に付けたスキルを評価し発展させる実習	4通	634				○
合計					71 科目	4314 単位時間 (	単位)			